

地下鉄事業者の基準単価・基準コスト等について

地下鉄事業者（地下鉄事業者とは、東京地下鉄株式会社、札幌市交通局、仙台市交通局、東京都交通局、横浜市交通局、名古屋市交通局、京都市交通局、大阪市交通局、神戸市交通局及び福岡市交通局の10社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

1. 基準単価

平成18年8月1日以降に地下鉄事業者が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価 } y = ax_1 + (bx_2) + c$$

(1) 線路費 $y =$ 線路延長1キロ当たり基準単価
 $a = 16,687.520$ $c = -71,256.761$
 $x_1 =$ 車両密度 (対数)
(線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(2) 電路費 $y =$ 電線延長1キロ当たり基準単価
 $a = 6.281$ $b = 100.97$ $c = -577.129$
 $x_1 =$ 電車密度 $x_2 =$ 電車線割合
(電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。)

(3) 車両費 $y =$ 車両1両当たり基準単価
 $a = 7.087$ $c = 2,040.052$
 $x_1 =$ 1両当たり輸送人員
(車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。)

(4) 列車運転費 $y =$ 営業キロ当たり基準単価
 $a = -248.547$ $b = 179,545.100$ $c = -776,712.424$
 $x_1 =$ ワンマン運転営業キロ割合 $x_2 =$ 列車密度 (対数)
(列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。)

(5) 駅務費 $y =$ 1駅当たり基準単価
 $a = 156,422.521$ $c = -1,146,655.280$
 $x_1 =$ 1駅当たり乗車人員 (対数)
(駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。)

2. 地下鉄事業者の平成17年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成17年度の基礎データに基づき算定した基準単価、平成17年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステイック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、地下鉄事業者の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステイック対象経費の割合は10社平均で、52%です。

(1) 基礎データ

	線路費	電路費		車両費	列車運転費	駅務費	
	x1	x1	x2	x1	x1	x2	x1
東京地下鉄	6.473	468.697	19.328	835.769	12.773	5.131	9.434
札幌市	5.904	302.216	16.899	524.929	0.000	4.808	8.353
仙台市	5.457	163.934	23.923	655.524	100.000	4.761	8.083
東京都	6.205	363.666	18.628	693.461	61.651	4.921	8.880
横浜市	5.782	291.589	14.763	735.048	0.000	4.691	8.564
名古屋市	5.910	300.197	24.541	550.417	17.621	4.856	8.382
京都市	5.753	251.023	20.719	517.599	52.431	4.706	8.251
大阪市	6.113	372.915	14.863	693.567	12.712	4.918	8.923
神戸市	5.734	218.326	15.566	504.311	25.817	4.708	8.303
福岡市	5.652	142.954	25.927	538.731	100.000	4.769	8.062

(2) 基準単価

基準単価は、(1)の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

(単位：千円)

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
東京地下鉄	36,762	4,318	7,963	141,359	329,035
札幌市	27,266	3,027	5,760	86,540	159,942
仙台市	19,807	2,868	6,686	53,247	117,708
東京都	32,289	3,588	6,955	91,506	242,377
横浜市	25,230	2,745	7,249	65,534	192,947
名古屋市	27,366	3,786	5,941	90,779	164,478
京都市	24,747	3,092	5,708	55,195	143,987
大阪市	30,754	3,266	6,955	103,131	249,103
神戸市	24,429	2,366	5,614	62,169	152,121
福岡市	23,061	2,939	5,858	54,683	114,423

(3) 施設量

	線路延長	電線延長	車両数	営業キロ	駅数
	(キロ)	(キロ)	(両)	(キロ)	(駅)
東京地下鉄	394.0	2,814.6	2,515	183.2	168
札幌市	96.0	688.8	396	48.0	49
仙台市	29.5	176.4	84	14.8	17
東京都	228.1	1,667.9	1,098	109.0	106
横浜市	81.4	613.7	228	40.4	32
名古屋市	181.5	908.7	762	89.1	96
京都市	59.2	358.6	222	28.8	30
大阪市	240.2	1,957.2	1,209	118.0	112
神戸市	61.6	560.2	208	30.6	26
福岡市	64.9	498.7	212	29.8	36

(4) 基準コスト合計額
及び実績コスト合計額

	基準コスト	実績コスト
	(百万円)	(百万円)
東京地下鉄	127,839	128,441
札幌市	18,975	16,530
仙台市	4,441	4,710
東京都	56,652	54,693
横浜市	14,213	12,443
名古屋市	36,813	32,803
京都市	9,750	11,718
大阪市	62,207	69,667
神戸市	9,855	8,834
福岡市	9,953	9,968

(注) 「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。